

阿波高生 県総体で 力戦奮闘

陸上、柔道のほかにも、女子ソフトテニス部、卓球部、水泳競技が四国総体出場を決めた。女子ソフトテニス部の小寺・長瀬ペアは、今までたくさんの人に支えてもらった感謝を述べ、「四国総体まで届かなかった仲間たちの思いを背負い最後まで自分たちらしいプレーをしたい」と語ってくれた。卓球部の板東大悟選手は、自身の目標であったベスト16を達成し、四国総体出場を決めた。彼もまた「支えてくださっている人に感謝を忘れず先輩たちの分まで頑張りたい」と闘志を燃やしていた。水泳競技の吉岡みなみ選手は、「一人一人が練習の成果を発揮し、悔いのない総体にしたい。」と語ってくれた。

それぞれの四国総体、そしてインターハイでの活躍を応援したい。

※他校の生徒・一般観覧者の肖像権保護のため写真省略。

力強さと情熱で駆け抜けた総体ラグビー 顧問京寛先生が語る今後とは…

キラキラと太陽が照りつける中力強いプレーを見せてくれたのは我が校のラグビー部だ。

結果は六位と目標には惜しくも届かなかったが、この結果から得たものもたくさんあったようだ。

顧問の京寛先生は「今大会は入部した

ての一年生がチーム内の半数以上を占めており、部員全員が成長し経験を積む良い機会となった。次の大会では今の練習を全学年のレベルアップに繋げ、どんな相手にも勝てるようになりたい。」と熱意をもって語っていた。続けて、「次の大会では十

五人制のため、部員が二人足りないので勧誘も頑張っていた」と話してくれた。

ラグビー部は随時新入部員を募集している。興味を湧いた人は、ぜひラグビー部に見学に行ってみてほしい。

(文責…西 花凜)

徳島高校総体弓道部門が鳴門・大塚スポーツパークにて五月三十〜三十一日の計二日間に渡り行われた。どの選手も活気に満ちていた。会場周りは選手と応援

に来た人で賑わっていた。三十一日の土曜日はグラウンドの砂が舞う程の強風だったが、強風に巻き込まれながらも真っ直ぐに的を見つめる姿が印象的

阿波高弓道部

―総体でも団結力と絆発揮―

だった。部長の稲井琴音さんに今回の総体について話を聞くことができた。稲井さんは「総体は凄く緊張しましたが、悔いを残さずに終われました。」と語ってくれた。また部活動についても、「毎回、大会終了後に皆でミーティングをしたことや、大会に向けて一緒に頑張ったことが思い出に残りました。」と語ってくれた。

学年の壁がなく、全部員の仲が良い弓道部。今後の活躍に期待が止まらない。

(文責…笹野 莉遠)



イラスト…真野 沙羅